

研修企画書

作成 2022年2月2日

企画No.

21-000

ページ

1 / 2

提出先		様	
研修テーマ	ワークショップ支援者育成研修		対象・人数 約18名
日時	2022年	時間数 210分	
会場	Zoom 活用オンラインルーム		
担当講師	永井 則子		
研修の狙い このプログラムでは、ワークショップ型研修をサポートする支援者育成を目指します。成果に結びつく学びは「講義から10%・他者との対話による学びが20%、仕事の体験から70%」で起きていると言われていています。ワークショップ支援者は、自律型人材育成を目指し、経験と対話による学習を通して自分なりの気づきを引き出します。			
研修の目標 <ol style="list-style-type: none">1. ワークショップ型研修の目的を確認する。2. 効果的なワークショップの要件を検証する。3. 何を観察し、何を支援するのか、を確認する。4. ワークショップの心理的安全性の保ち方を学ぶ。5. ワークショップへ介入する時のあり方について学ぶ。			
研修の展開 オンライン講義 ・ グループ演習			
ご準備頂くもの <ul style="list-style-type: none">• PC• QRコード読み取り用デバイス• A4サイズ白紙 2枚程度• 水性マジック 1本			

有限会社 ビジネスブレーション

☎044-865-3081

企画

永井

研修スケジュール

企画No.	ページ
21-000	2 / 2

時 間	カリキュラム	主 な 内 容
00:00	<p>初回</p> <p>●オリエンテーション (講義・自己紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の狙い ・自己紹介 <p>○ワークショップの目的と支援 (講義、グループ対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップとは ・効果的なワークショップの要件 ・観察の内容 <p>○心理的安全性への場づくり (講義・グループ演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理的安全性とは ・関係性形成のための仕掛け ・リフレーミングの声掛け ・心理的柔軟性を高める言葉かけ 	<p>*この研修で何を学び、どのように進めるか、を確認する。</p> <p>*経験と対話を通じた学びの効果をj確認する。同時に、最大の効果を得るために支援者として何を観察し、どのような支援が必要かを確認する。</p> <p>*経験と対話による学習は、安全な対話環境づくりが成功を左右する。ここでは、心理的安全性の基本的な考え方を学び、そのための物の捉え方や声掛け、その他の工夫について確認をする。</p>
01:30	休 憩	
01:40	<p>○対話の活性化へのサポートの仕方 (講義・ワークショップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話の流れ(発散・構造化・合意) ・対話が止まったとき ・対話のバランスが崩れたとき etc. <p>○リフレクションの支援 (講義・演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションとは ・深い振り返りへの支援 ・演習 <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容を振り返る 	<p>*体験学習における気づきを起こすには、体験⇒観察⇒気づき⇒行動計画の順で思考を進める必要がある。この流れが上手く進まなかったときにどう介入するかを検討する。</p> <p>*ワークショップを通してどのようなことに気づき、自分なりの学びとするかは参加者に任せられる。ワークごとに設定されているリフレクションの機会を実際に体験し、サポーターとしての気づきにつなげる。</p> <p>*本日の内容を振り返る。と同時にそれぞれの学びを共有する。</p>
03:30		

※ 講師の判断で一部内容を変更することがあります